5. 図書等資料の配布 質疑書・回答書

質疑番号	資料番号	資料ページ番号	質 問	回 答
1	6-1基本設計図	6-1-8 6-1-14	内部仕上表廊下(3)(LN6～LS4)の天井について、既存下地共撤去の上、システム天井となっておりますが、6-1-8図に記載がありません。工事はあると考えて良いでしょうか、御指示下さい。	6-1-8天井改修範囲図を正とします。 6-1-14内部仕上表の廊下(3)(LN6～LS4)の改修範囲は6-1-8の⑩の範囲のみとし、⑪の範囲もシステム天井ではなく、既存仕上のみ一時撤去(鋼製下地残置)の上、設備工事後同材復旧とします。
2	6-1基本設計図	6-1-22	レフェールーム→トイレ(E1)について、シャワーブースの撤去が点線になっていますが電気又は機械設備範疇との考えで宜しいでしょうか、御指示下さい。	シャワーブースの撤去は建築工事です。
3	6-1基本設計図	6-1-24	トイレ(E1)の手洗いカウンターを含む、点線表示は全て機械設備範疇との考えで宜しいでしょうか、御指示下さい。	質疑番号2のシャワーブース以外の点線表記部分の撤去工事は機械設備工事です。 なお、基本設計図6-1-40のサブアリーナシャワーブース撤去については、屋外給湯機撤去も含めシャワー設備一式が建築工事です。
4	6-1基本設計図	6-1-21	壁改修に絡む木製笠木について、OSCL塗装程度を見込む、との考えで宜しいでしょうか、御指示下さい。	お見込みのとおりです。
5	6-1基本設計図	6-1-31	SD表面再塗装の建具について、凡例ではOHS-1とありますが、①通りの建具はSS-1と思われれます。既存建具表が無い為、寸法が不明ですが、SS-1の再塗装との解釈で宜しいでしょうか、御指示下さい、	凡例のOHS-1は誤記です。SS-1(W4000xH2600、スチールシャッター)の再塗装とします。 なお、OHS-1は既存のままとします。
6	6-1基本設計図	6-1-32	1階地窓の入替フロートガラスの厚みが不明です。御指示下さい。	F-4です。
7	6-1基本設計図	6-1-32	サブアリーナ外壁改修について、東立面と西立面については既存は吹付タイルと見受けられます。クラック調査・補修の上、既存吹付タイルの上、トップコート吹付と読み替えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	差し支えありません。
8	6-1基本設計図	6-1-39	サブアリーナについて、バスケットコートライン等の球技ラインの有無の記載がありません。他球技用ラインの有無も併せ、必要であれば御指示下さい。	以下のコートライン塗装仕上です。 ・バスケットボールコート 3面 ・バスケットボールコート 1面(センター配置) ・バレーボールコート 4面 ・バドミントンコート 12面 ・フットサルコート 1面(ポイントのみ)
9	6-1基本設計図	6-1-2	メインアリーナについても同様に、各種球技ラインの有無も併せ、必要であれば御指示下さい。	以下のコートライン塗装仕上です。 ・バスケットボールコート 3面 ・バスケットボールコート 1面(センター配置・ポイントのみ) ・バレーボールコート 4面 ・バドミントンコート 12面 ・フットサルコート 1面(ポイントのみ)
10	6-1基本設計図	6-1-30	サブアリーナの外部土間取合いシールやり替え、タイル補修、浮きクラック補修について、引き出し線が植栽・砂利層です。また床タイルの範囲は風除室廻りしかありません。他の床コンクリート直押え部分については補修は不要、との考えで宜しいでしょうか、御指示下さい。	引き出し線の位置は誤記です。 外部床の補修は以下の通りです。 ・風除室廻り床タイル: 取合いシールやり替え、タイル補修、浮きクラック補修 ・外周犬走り床コンクリート直押え: 取合いシールやり替え、浮きクラック補修
11	6-1基本設計図	6-1-8 6-1-30	各所天井改修工事について、天井点検口の記載がありません。必要口数を御指示下さい。	下記の通りです。 メインアリーナ: 在来天井用(天井改修範囲)40ヶ所、システム天井用40ヶ所 サブアリーナ: 天井改修範囲16ヶ所
12	6-1基本設計図		見積りにあたり、以下の設計図をご提示ください。 □メイン/ブドウ棚に新設する補強鉄骨の設計図 □メイン/トップライト撤去後の屋根下地鉄骨図および屋根設計図 □サブ/外壁アルミパネル化の設計図	□メイン/ブドウ棚に新設する補強鉄骨の設計図は、6-1-20図のとおりです。また、昇降装置受け用補強鉄骨は、H-200 x 200 x 8 x 12 程度で、基本設計では合計25tとなります。既存鉄骨に孔あけしボルト留めの仕様とし実施設計にて詳細検討することとします。 □メイン/トップライト撤去後の屋根下地鉄骨図および屋根設計図は、6-1-17図のとおりです。新設鉄骨は図面の通り母屋材および母屋材の受け鉄骨を見込んでください。既存鉄骨に孔あけしボルト留めの仕様とし実施設計にて詳細検討することとします。 □サブ/外壁アルミパネル化の設計図は、範囲は6-1-33図およびディテールは6-1-38図のとおりです。既存サッシ縦材横材は残置し、ガラスを撤去後、アルミ断熱パネル(工場製作品)を既存サッシに取り付ける仕様です。

質疑番号	資料番号	資料ページ番号	質問	回答
13	5.共通	5-3-1	着工(9月上旬予定)より、仮設事務所および資材ヤードのエリアは借用出来ると考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
14	5.共通	5-3-1	仮囲いはアドフラットH=3.0mとなっています。設置場所はインターロッキングやアスファルト舗装面が多く、仮囲い下地の杭の打込みで損傷が多く発生します。損傷箇所を減らすため、H=2.0mとすることは出来るでしょうか。(リース料の低減にもなります)	差し支えありません。
15	サブアリーナ設計書	2-3-5-2	サブアリーナの外壁ガラス撤去およびアルミパネル化のパネル断熱化の仕様をご指示ください。	基本設計書2-3-5-1に記載のとおりです。
16	サブアリーナ設計書	2-3-5-2	上記の箇所にアルミガラリがありますが、改修なしと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
17	サブアリーナ設計書	2-3-5-2	上記の箇所に排煙窓がありますが、改修なしと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
18	メインアリーナ設計書	2-4-1-1	メインアリーナの鋼製床下地 大引鋼:100×100×3.2@300とありますが、サブアリーナと同じく@900ではないでしょうか。	メインアリーナの床は、FIBA公認レベル2程度、耐荷重5t/m2仕様とするため、大引鋼:100×100×3.2@300としています。断面詳細図の床大引ピッチは誤記ですので上記を正とします。
19			欠番	
20	6-1基本設計図	6-1-28	観客席座面再利用計画について、高機能化工事(別途工事)で一時撤去した観客席、との文言がありますが一時撤去・保持・再取付は同一業者にて建築工事範疇との解釈で宜しいでしょうか、御指示下さい。	観客席座面再利用について、撤去保管は、高機能化工事(別途工事)でR7年度中に一時撤去を行います。本工事にて、保管場所(1階ピロティに箱付けて保管予定)から設計配置へ運搬再取付、必要部取り付け脚ブラケット等新設を同一業者にて行い、その工事費を見込んでください。
21	6-1基本設計図	6-1-8	連絡通路柱について、無機質浸透性改質剤塗布とありますが、想定メーカー・材料を御提示下さい。	株式会社クリエイティブライフ SG打放しコート(打放し補修・全光型光触媒)同等品で見込んでいます。
22	6-1基本設計図	6-1-32	サブアリーナ外壁モザイクタイル補修について、シーリング打替え、表面保護材改修とありますが、表面保護材の想定メーカー・材料を御提示下さい。	コニシ株式会社 アクアトップコート(アクアバインド工法)同等品で見込んでいます。
23	6-1基本設計図	6-1-32	サブアリーナ外壁改修について、クラック調査は全体数量で良いかと思われませんが、補修は見積り上、全体の何パーセント設定としたら良いか不明です。御指示下さい。	タイルの浮き補修:タイル面積の8%、クラック補修:15mで算定してください。
24	6-1基本設計図	6-1-25	大型昇降装置ですが、最大パーツが約2.3m×2m程度の大きさ(重量4t程度)になるとのことです。この大きさを荷上げ出来る開口をどこに設置するのでしょうか。	中央部既存大型映像を撤去後の開口にて搬入の検討を行ってください。開口候補は、別添資料(質疑書回答書_24_補足追加資料.pdf)を参照ください。
25	6-1基本設計図	6-1-26	大型ビジョン用フレームは別途工事とありますが、工期内で設置するのでしょうか。	大型ビジョン用フレームは実施設計で詳細を検討し、1期工事への追加を予定しています。工事費やスケジュールについても実施設計で検討を行うこととします。
26	メインアリーナ設計書	3-8-5	中央の大型映像装置の撤去(電気工事)とありますが、装置上部のスピーカーは残るのでしょうか。その場合、支持架台はどのようになるのでしょうか。	スピーカーは残置利用とします。フレームの残し方、スピーカーの仮移設設置位置、ブドウ棚への移設について実施設計で詳細を検討することとします。
27	メインアリーナ設計書	2-4-2-1	メインアリーナ、サブアリーナの内部壁ですが、工期短縮と産廃量削減のため、既存壁を残した上で衝撃吸収緩衝壁を設置することは出来ないでしょうか。	衝撃吸収緩衝壁の性能を発揮できないため、既存壁は原則撤去としていますが、性能を確保できる工法について提案があれば実施設計で検討を行うこととします。
28	サブアリーナ設計書	2-3-5-2	サブアリーナのアルミパネルの断熱材は現場発泡ウレタン吹付としてはダメでしょうか、御指示下さい。	基本設計書2-3-5-1に記載のとおり、現場発泡ウレタン吹付としています。
29	6-1基本設計図	6-1-19	エントランス庇の防水改修について、既存ルーフトレン止め金物改修とありますが詳細が不明です。工事内容をどの様に見込めば良いか、御指示下さい。	基本設計図6-1-19『ルーフトレン止め金物改修』は誤記です。『既存ルーフトレンを改修用ドレン(専用ストレーナー共)に改修』が正です。
30	メインアリーナ設計書	2-4-1-3	メインアリーナ内に工事車両の搬入を計画したいのですが、その場合体育器具基礎が支障になるため、支障となる立上り部分を撤去、再構築してよろしいでしょうか。	差し支えありません。位置、再構築方法等については実施設計で検討することとします。
31	メインアリーナ設計書	2-4-1-1	既存の体育器具基礎を連続繊維補強工法するようありますが、補強方法をご指示ください。	局所的な補強のため、施工性を考慮し、接着工法で二方向アラミド繊維シートによる補強を想定しています。

質疑番号	資料番号	資料ページ番号	質問	回答
32	5.共通	5-3-5	メインアリーナにトレンチピットスラブがありますが耐荷重ほどの程度でしょうか。	現段階では、全体の荷重条件は別添資料(質疑書回答書_32_補足追加資料.pdf)を参照ください。
33	メインアリーナ設計書	2-4-1-3	アリーナ床に床換気口が既存にあります。今回も必要な場合、仕様と数量をご指示願います。(メイン、サブ共)	既存と同仕様、同数を設置します。なお、詳細は実施設計で検討します。
34	6-1基本設計図	6-1-25	メインアリーナのブドウ棚補強鉄骨工事の際、キャットウォークの手摺が支障になると思われるため、手摺の撤去、復旧(溶接無し、サヤ管等で対処)は可能でしょうか。(現状では支障になる箇所が不明ですが。)	可能です。詳細は実施設計で検討します。
35	3-1改修基本方針	3-1	「改修基本方針」記載の「幹線設備工事」は、メインアリーナは2期工事ですが、サブアリーナの幹線増設は将来工事での施工記載になっております。他のサブアリーナ工事は1期で完了予定ですが、メイン～サブアリーナへの幹線配線(空調増強関連幹線工事)は、1期工事で終わらせる考えで宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
36	3-1改修基本方針	3-1 3-8-6	「改修基本方針」記載の「大型映像設備 撤去」は、競技用計時設備の「得点表示設備(2面)」の事ととらえて宜しいでしょうか。	競技用計時設備は3-8-6とし、大型映像設備は、映像設備撤去(3-8-5)に示すものです。なお、3-1に記載の通信設備にある映像設備は、大型映像設備撤去(3-8-5)と同じものを指しております。
37	3-1・3-9改修基本方針	3-1 3-9	「改修基本方針」「吊りもの設備」記載の「吊りもの設備更新」は、建築工事の吊りものパトンの更新と考え、電気的には電源切離し・接続・試験と考えて宜しいでしょうか。	基本設計図6-2-34～6-2-38(電源・電力・監視設備)に記載のとおり、吊りものパトン一式の撤去を電気工事で行います。なお、基本設計書3-1及び3-9に記載の「更新」は誤記で撤去のみ行います。
38	3-2基本設計図	3-2-1	記載の「(1)受電盤」は、既設の「高圧切替盤」で宜しいでしょうか。また予備受電盤の機能は無い為、「高圧切替盤」内部の不要機器類を撤去し、「高圧幹線接続盤」として利用する考えで宜しいでしょうか	受電盤は、既存の本予備受電盤(2回線受電)を撤去し、高圧幹線接続盤(1回線受電)に新設とするものです。
39	3-2基本設計図	3-2-1 3-2-4	休止期間を利用して、コスト検討の上、可能であればキュービクル内部改造で検討しても宜しいでしょうか。	差し支えありません。詳細は実施設計で検討することとします。
40	3-5基本設計図	3-5-2 3-5-5 5-3-5	メインアリーナ照明を調光器具に更新及び非常照明設置に伴い、天井内配線を行います。器具更新は既設の点検用電動走行ステージを使用し施工可能ですが、配線施工には仮設足場が必要です。仮設計画図では、メインアリーナ中央部に高い仮設足場設置記載がございますが、客席部に低い仮設足場の記載しかなく、大きく不足しております。高所作業車をホール内に入場するにも、アリーナ搬入口開口部が、高さ3.2m 幅3.7mの為、大型のトラック式高所作業車がアリーナ内納入出来ません。	電源供給に係る配線は、既設電源配線の再利用を想定しています。また、制御に係る信号配線は、メッセンジャーワイヤー付きの制御配線の利用や既設電源配線を導入線として新規の制御配線の張替えに利用するなどを想定しています。なお、アリーナ中央部以外の施工で必要となる足場については、基本設計書5-3-5本文に記載のとおり見込んでいます(大型のトラック式高所作業車の使用は想定していません)。
41	3-5基本設計図	3-5-2	キャットウォーク内に保守用投光器水銀灯(照明記号:P)が設置されておりますが、取替は考えなくて宜しいでしょうか。	取替ではなく、撤去のみ行います(基本設計図は撤去について記載漏れですが概算金額には見込んでいます)。なお、水銀灯(P)は保守用ではなくライトアップ用です。
42	3-5基本設計図	3-5-2	施設用の照明調光制御盤の取付位置を御指示下さい。	防災センターとしてください。既存にも設置されているものの更新になります。
43	3-5基本設計図	3-5-2	仮設照明調光制御盤は、メーカーが持参する制御盤と考えて宜しいでしょうか。本工事に含むのでしょうか。御指示下さい。「基本設計図では2箇所記載」	メーカーが持参する制御盤です。本工事は制御用配線の接続盤として2ヶ所設置するものです。
44	3-8基本設計図	3-8-6	競技用計時設備(大型モニター)の撤去範囲は、LED表示部分のみの撤去とし、筐体・時計は残置と考えて宜しいでしょうか。LED表示部撤去の場合は仮設足場が必要です。御指示下さい。	表示部だけでなく、筐体等を含む全体の撤去です。撤去に含む足場は、すべて競技用計時設備の撤去の概算に含んでいます。
45	3-8基本設計図	3-8-6	競技用計時設備(大型モニター)撤去後の美観を損なわない処置とは、LED部のみ撤去の場合は、落下リスクの少ないシート等で養生を行う考えでよろしいでしょうか。	全体の撤去となります。部分的な撤去ではありません。見える部分で撤去傷や、色などがまばらになっている部分は補修などをお願いします。
46	サブアリーナ3-2基本設計図	3-2-2	サブアリーナ仮設用区分開閉器設置箇所は中部電力と協議済みでしょうか。又は、実施設計技術協力業務中に確認を取るのでしょうか。	引き込み電柱は協議済みです。

質疑番号	資料番号	資料ページ番号	質問	回答
47	サブアリーナ 3-2 基本設計図	3-2-2	架線ルートを図面の様に変更は可能でしょうか。「別紙1」5-3-3仮設計画にも変更計画有り	可能です。詳細は実施設計で検討します。
48	サブアリーナ 3-3 基本設計図	3-3-1	スイッチ回路は以下の回路数をサブアリーナ・メインアリーナ 防災センターに設置すればよろしいでしょうか。 照明スイッチ:想定競技4種類×3分割区分 合計12回路 予備スイッチ:4回路程度(一括消灯含む) スイッチでの点滅・消灯のみとして、個別の調光制御は必要 ないと考えてよろしいでしょうか。	スイッチ回路については、ご質問のとおりです。点滅方式は、 調光スイッチです。
49	サブアリーナ 3-5 基本設計図	3-5-2	サブアリーナの監視カメラは、既存を更新として追加設置・取 付位置移動は無いと考えてよろしいでしょうか。 更新カメラの台数は何処かに記載されていますか。	お見込みのとおりです。 更新台数は3台(基本設計図6-2-19)です。 なお、基本設計図(メインアリーナ)3-8-2に記載があるサブア リーナの監視カメラの更新台数は誤記です。
50	サブアリーナ 3-5 基本設計図	3-5-7	トイレ呼出設備 メインアリーナ表示器への移報は、サブアリーナトイレの一括 警報として個別警報は無いと考えてよろしいでしょうか。	1期工事においては、お見込みのとおりです。 なお、2期工事で親機の更新を行うため、個別警報ができる配 線を行います。
51	サブアリーナ 3-5 基本設計図	3-6-1	トイレ呼出取付は、身体障害者トイレの2箇所のみと考えてよ ろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
52	5-3 工事手 順検討 仮設計 画	5-3-5	メインアリーナの照明取替などに必要な足場は見込みと記載 があります。高所作業車を入れる場合、アリーナ内部の荷重 制限等解りますか。	荷重条件は、別添資料(質疑書回答書_32_補足追加資 料.pdf)を参照ください。
53	サブアリーナ 3-4 基本設計図	3-4-1	サブアリーナの分電盤更新範囲を御指示下さい。	サブアリーナ内すべての盤になります。 S-2P-1、2 S-1L-1 S-2L-1、2、3 M-LM-M
54	メインアリーナ 3-1 改修基本方針	3-1	屋根トップライトふきかえが御座いますが、避雷針の盛替えは 不要でしょうか。	不要です。実施設計の現状調査において建築工事に支障が 出る場合に改めて計画します。